

報道関係各位

2002年2月5日

東日本旅客鉄道株式会社  
東京急行電鉄株式会社

## 目黒の新たなランドマーク「JR東急目黒ビル」4月グランドオープン

東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：大塚陸毅）および東京急行電鉄株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：上條清文）では、目黒駅上部に建設中の大型複合ビル「JR東急目黒ビル」を2002年春に開業いたします。東京急行電鉄所有区画の一部オフィスが3月に開業する他、大部分のオフィスおよび店舗が4月にオープンいたします。

目黒では、JR山手線に加え、新たな都心へのルートとして、東急目黒線と、営団南北線、都営三田線が2000年9月から相互直通運転を開始するなど、交通インフラが整備され、利便性が増しています。この「JR東急目黒ビル」は、JR東日本グループと東急グループが、目黒の新しいランドマークに相応しい施設と上質なサービスを提供し、地域活性化の一翼を担うことを目的として、1994年7月から工事を進めてきたものです。

東急目黒線の地下化に加え、JR山手線の上部約6,000㎡に人工地盤を敷設し、両社の敷地を一体利用した共同開発であります。

建物規模は、地上17階、地下4階建て、延べ床面積、約52,000㎡となり、駅直上というアクセスの良さを活かして、主要用途はオフィス、その他は、店舗、サービス施設、駅施設といたしました。

オフィス部分は3階から17階までの15フロアで、ワンフロアあたり約1,000～2,000㎡のフレキシビリティの高い快適な空間を提供し、貸室面積は約19,000㎡となります。最新のオフィス設備、情報インフラ機能を備えており、既に広告代理店、コンピューター関連企業等の入居が決定しております。

このほか、地下2階から地上2階までは、周辺にお住まいの方々、鉄道利用者、オフィスワーカーにご利用いただくための、店舗、サービス施設とすることで、地域と駅とビルとの融合を図っています。

店舗としては、地上1階及び2階に、JR東日本グループの東京圏駅ビル開発株式会社が運営する「アトレ目黒」が目黒の新しいスポットとして誕生し、飲食、物販店舗が14店出店します。また地下1階には、株式会社東急ストアが運営するフードマーケット「ブレッセ」が出店し、食の文化を提案します。両店舗は4月2日（火）に同時オープンいたします。

サービス施設としては、地下2階に目黒区行政サービス窓口と東京三菱銀行目黒支店が開設され、目黒区行政サービス窓口は4月1日（月）、東京三菱銀行は4月15日（月）にそれぞれ開業いたします。

「JR東急目黒ビル」の概要は別紙の通りです。

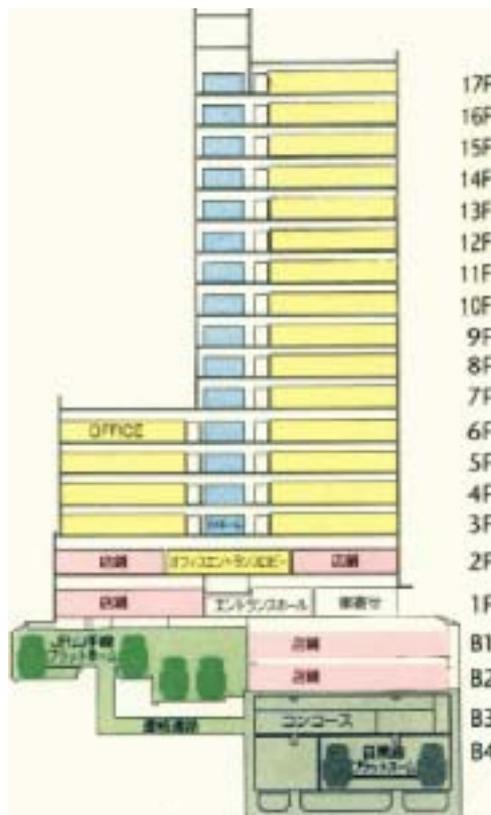
## J R 東急目黒ビル概要

所 在	東京都品川区上大崎三丁目 1 番 1 号
敷地面積	約 11,000 m <sup>2</sup>
構造規模	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下 4 階地上 17 階建
延床面積	約 52,000 m <sup>2</sup>
用 途	オフィス・店舗・駅施設
用途別面積	オフィス貸室面積：約 19,000 m <sup>2</sup> (3~17 階) 店舗：約 5,000 m <sup>2</sup> (1~2 階、B1~B2 階) 駐車場台数：162 台
事 業 主	東日本旅客鉄道株式会社 東京急行電鉄株式会社
設 計 監 理	目黒駅共同ビル設計共同企業体 (株式会社東急設計コンサルタント、 株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所)
施 工	目黒駅共同ビル新築共同企業体 (鹿島建設株式会社、東急建設株式会社、鉄建建設株式会社)
竣工予定	2002 年 3 月 14 日 (木)
アトレ目黒	14 店舗：約 2,000 m <sup>2</sup> 物販 3 店舗 (コンビニエンスストア、洋菓子(チョコレート)販売、フラワーショップ) 飲食 10 店舗 (洋菓子喫茶、デリカカフェ、中華居酒屋、回転寿司、創作和食、串揚げ、和風居酒屋、イタリアン、スタンドカフェ) サービス 1 店舗 (歯科)
フードマーケット	「ブレッセ」 約 1,200 m <sup>2</sup> 「ハイクオリティ&ハイサービス」をテーマに、産地・原料・素材、製法等にこだわった品質重視の品揃えと、料理提案なども含めたハイレベルなサービスを提供する食品を中心とした高級スーパーマーケット。

以 上



外観完成予想図



断面図